

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は 2023 年度日本陸上競技連盟規則、並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。本競技会要項により参加するパラ競技者についても競技規則の適用は同様とする。ただし障がい特性により特別な配慮がされる場合は、2022-2023World Para Athletics(WP A)競技規則による。パラ競技者についてはスタートリストの氏名の後に障がいクラスの注記がある。

2 競技場の入退場について【入退場口（Bゲート）・総合案内所・スタンド（観客席）：1階】

【招集所・TIC・室内練習場・更衣室・PECエリア・トラック：地下2階】

- (1) 会場への入退場口は B ゲートのみとする。（ただし、事前申請を行った棒高跳用ポール搬送車両は P3 ゲートから入場すること。）
- (2) 入場開始時刻は各日とも 8：00 とする。
- (3) 競技者、チーム関係者は入場の際に所定の ID カードを身につけること。
- (4) 団体ごとに 1 階 B ゲート横に設置する競技者受付にてアスリートビブス・ID カード・プログラム引換券を受け取ること。
- (5) 総合案内所（競技者受付横）にてプログラムの引換、販売、記録証の受付等を行う。
- (6) プログラムに記載ミス（氏名、学年、所属等）があった場合には、8：30 または出場する競技の 2 時間前までに地下 2 階 GATE 5 裏の TIC に申し出ること。プログラムは、総合案内所で販売する。

3 新型コロナウイルスの感染拡大防止

競技者及び来場者に関して

- (1) 感染症対策については、各自で感染予防に努めること
- (2) 来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避けた行動を推奨する。
- (3) マスクについては個人の判断に任されているが、人が密集する場所では、着用を推奨する。
- (4) 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中及び快復後十分な時間を経過していない場合には競技会へ参加しない、また競技会場において観戦しないこと。
- (5) 発熱、咳嗽等の症状がある者は競技会に参加しない、また競技会場において観戦しないこと。
- (6) こまめな手洗い・アルコール等による手指消毒を励行すること。
- (7) 日々の体調管理を推奨する。

4 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは、競技エリア（競技開始前にハードル競技のみ）、雨天練習場、東京体育館で行うことができる。
- (2) 競技エリア入場できるのは競技者のみとする。室内練習場は安全のため、監督コーチは練習場内の柱の後ろで待機すること。東京体育館では監督コーチはトラックの外で待機すること。
- (3) 競技エリアでのウォーミングアップは、本競技会に参加する競技者に限定する。
- (4) 招集所に移動する場合や、ウォーミングアップを競技エリアや室内練習場で行う場合、GATE 5 裏の指定された階段から地下 2 階に降りること。レース後や退場の際はフィニッシュ後方の GATE 2 からミックスゾーンに

入り、指定された階段から1階のスタンドに上がること。

- (5) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い（競技運営上、一時的に制限することがある）、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。
- (6) ハードルの設置のトラック使用（競技エリア）については、以下のとおりとする。

ハードル競技の決勝前については室内練習場を使用しメインスタンドでのウォーミングアップ時間は設けない。

	競技種目	ハードル設置時間	設置場所
1日目 4/22	男子400mH (0.914m)	8:00～9:15	7～9レーン（バックストレート）
	女子400mH (0.762m)	11:30～12:15	4～6レーン（バックストレート）
2日目 4/23	男子110mH (1.067m-9.14m)	8:00～9:15	1～3レーン（ホームストレート）
	中学男子110mH (0.914m-9.14m)		4～5レーン（ホームストレート）
	女子100mH (0.838m-8.5m)		6～7レーン（ホームストレート）
	中学女子100mH (0.762m-8.0m)		8～9レーン（ホームストレート）

- (7) フィールド競技のウォーミングアップは競技役員の指示に従い、招集完了後にそれぞれの競技場所で行うこと。

- ① 室内練習場の砂場については室内練習場の混雑緩和と安全対策・感染症対策のため使用しない。
- ② 投てき物を使用したウォーミングアップはどの会場でも不可である。招集完了後、それぞれの競技場所で行うこと。

- (8) 設置してある用器具

場所	準備物品	注意事項
メインスタジアム	・競技前に必要な物品	・練習道具持ち込み不可
室内練習場	・ハードル ・スターティングブロック	・練習道具持ち込み不可
東京体育館	・なし	・練習道具の持ち込み不可

- (9) ウォーミングアップ会場の使用時間帯、実施できるウォーミングアップについてはウォーミングアップに関する資料を参照すること。

5 欠場について

本競技会を欠場する者は東京陸協ホームページより欠場届の書式をダウンロードし、以下の要領で提出すること。

4月21日（金）以前はメールにて送付すること。メールアドレス absence-form@toriku.or.jp

競技会当日（4月22日（土）～4月23日（日））は、予選については競技開始時刻の90分前、決勝は60分前までにTICに提出すること。

なお、競技会当日、会場に来場しない場合は、上記のメールアドレスに前日の15:00までに送付すること。

6 招集について

- (1) 招集所の設置場所は、200mスタート地点後方のGATE5裏とする。
- (2) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりである。
- (3) 招集の方法

- ① 競技者は定められた時間内（タイムテーブル参照）に招集所で競技者係による招集を受けること。

その際、アスリートビブス・靴・スパイクピン・商標のチェックを行う。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー標識を受け取ること。

- ② ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。それら禁止物品については招集所にて一旦預かり、T I Cにて返却する。
- ③ 代理人が招集を受けることは認めず、招集完了時刻を超えた場合には、当該種目を棄権したものと処理する。
- ④ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所（競技者係）に備え付けの「2種目同時出場届」に記入し競技者係に提出すること。
- ⑤ 棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。

7 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブス（グランプリに出場する競技者はグランプリ専用）を、競技者受付で配付（2枚）する。
アスリートビブスはそのままの大きさと胸と背部に確実に固定すること（跳躍競技については胸または背部のどちらかでもよい）。
- (2) トラック競技に出場する競技者に、腰ナンバー標識を交付する
- (3) アスリートビブスを紛失した競技者は、地下2階 GATE 5 裏の T I C に申し出ること。T I C にて再発行を行う。ただし、再発行にあたっては実費を徴収する。

8 競技区域への入退場について

- (1) 競技区域への入退場はすべて競技役員の指示・誘導に従うこと。
- (2) 招集所からスタート地点または競技場所に移動する際は、必ずマスクを着用すること。
- (3) 競技区域には、地下2階 GATE1、2、4、5 から入場すること。退場口は、フィニッシュ付近のミックスゾーン（GATE 2）のみとする。
- (4) 棒高跳の招集は競技実施場所で行われるので、各自練習の後はその場にて待機すること。
- (5) グランプリ種目に出場する競技者の荷物は、競技役員がミックスゾーン（GATE 2）の先の PEC（ポストイベントコントロール）エリアに運搬する。東京選手権はトラック競技決勝のみ同様に荷物を運搬する。それ以外のラウンドでは、競技役員の指示に従って、スタート地点までトラックの外側を経由して戻り、荷物を受け取ること。

9 更衣室について

室内練習場更衣室を使用すること。更衣室では更衣のみ行い、盗難等の防止のため荷物は置かないこと。

10 競技及び競技方法について

- (1) トラック競技
 - ① トラック競技の組合せ及びレーン順は、東京選手権記録携帯速報サイトにて発表する。
 - ② 前日 15：00 までの欠場届の状況により、翌日の予選の組合せ及び進出条件の変更を行うことがある。
 - ③ 男子 100m 及び 400m はターゲットナンバーから漏れた競技者によるレースを記録会として実施する。

- ⑤ ハードルの高さは以下のとおりとする。

	男子	女子
110mH	1.067m	
	男子	女子
100mH		0.838m
400mH	0.914m	0.762m

(2) フィールド競技

- ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まって最後の1人となるまでは以下のとおりとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m85 2m00	1m90	1m95	2m00	2m03	2m06	以降3cm刻みとする。
女子走高跳	1m50 1m64	1m55	1m60	1m64	1m67	1m70	以降3cm刻みとする。
男子棒高跳	任意の高さ*	4m30	4m50	4m70	4m80	4m90	以降5m20までは10cm刻みとし、5m20からは5cm刻みとする。
女子棒高跳	任意の高さ*	3m00	3m20	3m30	3m40	3m50	以降3m80までは10cm刻みとし、3m80からは5cm刻みとする

*審判長が出場者の希望を聞いた上で決定する

- ② 男子走幅跳は2つの並行するピットで2組に分かれて決勝を開始する。3回の試技後に上位8名がそれぞれ前半に跳躍したピットで残り3回の試技を行う。
- ③ 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子10mの地点に設置する。
- ④ 投てき用具は、以下の規格を用いる。
- 【男子】砲丸投7.260kg、円盤投2.000kg、やり投800g
- 【女子】砲丸投4.000kg、円盤投1.000kg、やり投600g

(3) 抗議と上訴について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が電光掲示板で正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドがある場合は15分以内）に、競技者自身または代理人あるいはチームを代表する者が地下2階GATE5裏のTICに申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金（1万円）を添えTICに申し出ること。

11 用器具について

- (1) 競技用器具は、主催者が用意したものに限る。ただし、棒高跳用ポールは、競技者が用意したものを使用すること。

また「やり」は、主催者が用意した投てき用具としてリストに複数本ないものは、副技術総務の検査を受けて合格したもの限り、2個まで個人所有のもの（日本陸上競技連盟検定品に限る）が使用（持ち込み）できる。検査に合格した「やり」は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。

- (2) 「やり」の持込を希望する競技者は、招集開始時刻の100分前までに、地下2階GATE5裏のTICに「投てき用具検査申請書」とともに「やり」を提出すること。受け付けた「やり」については、「預り証」を発行する。受け付けた「やり」は、競技終了後にTICで「預り証」を確認のうえ返却する。
- (3) 送付された棒高跳用ポールはGATE5(招集エリア)の器具庫に保管されている。
- (4) 棒高跳用ポールを返送する際は、競技終了後GATE5(招集エリア)の器具庫に運び入れること。

12 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とし、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) World Athletics (WA) が承認したシューズリストでNoと記載されている靴については使用ができないので、各自で確認しておくこと。 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>
- (3) 靴底の厚さについては、TR5及び「競技用靴に関する規程」に準じる。規定を超える靴での出場は認めない。
- (4) 使用された靴に関して審判長が確認のため、競技終了後に提出を求めることがある。

13 表彰について

- (1) 選手権各種目の優勝者には選手権章と賞状、第2位と第3位にはメダルと賞状、第4位から第8位には賞状を授与する。また、最優秀選手として男女各1名、優秀選手として男女各若干名を表彰する。
- (2) 選手権各種目、第3位までの入賞者は、表彰式にて表彰を行う。競技終了後、速やかに地下2階メインスタンド正面下の表彰者待機場所に集合すること。
- (3) 選手権各種目、第4位～第8位までの入賞者には、正式結果発表後30分を経過してから、1階Bゲート横の総合案内所で賞状を授与する。
- (4) 最優秀選手及び優秀選手については、全競技終了後にアナウンスにて発表し、後日、賞品を贈呈する。
- (5) グランプリ種目各種目第3位までの入賞者は、フィニッシュライン付近エリアで行われる表彰式にてメダルを授与する。また第8位まで入賞者には賞状を授与するので、総合案内所で受け取ること。

14 ドーピング・コントロール・テストについて

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- (2) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトからダウンロードできる。
(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>) 18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。
なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
- (3) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則

違反と判断された場合には日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

- (4) 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- (5) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

15 製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等について

競技エリアに製造会社のロゴやマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。競技役員から指摘された場合は、その指示に従い、必ずテープ等を貼って隠すこと。

16 その他

- (1) 競技中の応援・助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (2) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (3) 主催者で預かった物品については一時保管するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。
- (4) 記録はその都度、アナウンス、電光掲示板及び記録結果携帯速報サイトに発表する。
- (5) 届けられた遺失物については、1階Bゲート横の総合案内所で4月23日競技会終了時まで保管する。
- (6) 次の種目の「第86回東京陸上競技選手権大会」については以下のとおり行う。
 - リレー、混成競技：2023年4月15日～16日 駒沢オリンピック公園陸上競技場
 - ハンマー投：2023年5月5日 大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場
 - 男子20km競歩、女子10km競歩：第72回元旦競歩大会（2024年1月1日）
- (7) 記録証は1部300円で発行する。希望者は総合案内所に申し出ること。
ただし、第1日は16:00、第2日は15:00までに受け付けた場合のみ当日に発行する。
- (8) 提出書類等については以下のとおりとする。

	提出書類等	配付・提出先	提出締切時刻
1	プログラム訂正届	T I C	競技実施日の8:30まで、または 競技開始時刻の2時間前まで
2	欠場届(競技会当日)	T I C	競技開始の90分前(決勝は60分前)まで
3	2種目同時出場届	招集所(競技者係)	第1種目の招集開始時刻の30分前まで
4	投てき用具検査申請書	T I C	招集開始時刻の100分前まで
5	抗議申立(口頭)	T I C	正式記録発表後30分まで (同一日に次のラウンドがある場合)15分まで
6	上訴申立書(文書)	T I C	審判長公式裁定後30分まで (同一日に次のラウンドがある場合)15分まで

第86回東京陸上競技選手権大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm> QRコードもご利用ください。

競技会コード 23 50 1400 競技場コード 131040

